

授業科目 成人看護学実習 I

【担当教員名】		対象学年	3・4	対象学科	看護
成人看護学領域全員		開講時期	前期（4年）・後期（3年）	必修・選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【概要・一般目標：G10】 手術療法を受ける対象およびその家族が直面している健康問題を理解し、急性期から回復期および維持期に至る変化を予測し、合併症予防を図り、回復を促進するための看護および社会復帰に向けて自立を促進するための教育的働きかけを実践する能力を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 手術療法を受ける対象の全体像がわかる 2. 手術療法を受ける対象の病態および治療について説明できる 3. 急性期から慢性期に至る対象の健康問題を把握し、対称に応じた看護計画を立案し、看護の実践および評価ができる 4. 回復期から維持期に至る変化を予測し、社会復帰に向けて自立を促進するための教育的働きかけが理解できる 5. 対象のQOLを支える保健・医療・福祉の連携およびチームにおける看護職の役割を理解し、退院を視野に入れた継続した看護の必要性が理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	実習オリエンテーション 病院実習 <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、手術を受ける患者を受け持ち、看護実践を行う ・受け持ち患者が手術を受ける際には、手術見学を行う ・カンファレンスを通して、受け持ち患者の理解を深め、周手術期看護の学習を深める 				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	適宜、提示する				
その他の資料	授業で配布した資料				
【評価方法】 実習内容、実習記録、出席状況、実習態度などを総合して評価する			【履修上の留意点】 健康管理に留意し、欠席しないようにしてください		